



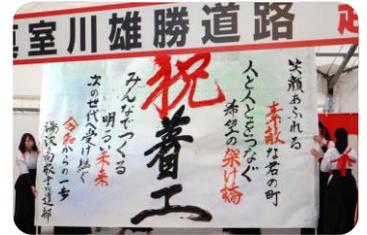
東北中央自動車道さらに前進！「真室川雄勝道路」起工式開催！



12月14日、秋田県湯沢市上院内にて、東北中央自動車道の一部となる「真室川雄勝道路」の起工式が開催され、山形、秋田両県の国、県、市町村の関係者や、経済団体の代表者など約120名が出席しました。式では、御法川国土交通副大臣の主催者挨拶から始まり、若松副知事、真室川町長らによる鍬入れの儀式や秋田県立湯沢高校の生徒による書道パフォーマンスが行われ、工事の安全・早期完成を祈念しました。

現在工事中の泉田道路（8.2km）と新庄金山道路（5.8km）の他、金山道路（5km）も昨年度に事業化され現在調査設計を進めております。秋田県まで東北中央自動車道がつながるのも間もなくです。

[建設総務課 29-1391]



最上小国川流水型ダム 試験湛水を開始しました！



上流 1月6日11時時点

最上町に建設中で完成間近の「最上小国川流水型ダム」。実際に水を貯めて、ダムや貯水池周辺の安全性を確認する「試験湛水」を12月27日から開始しました。令和2年4月から本格的な運用開始を予定しています。およそ5年に渡るダム本体工事の完成まであと一歩です。



◎試験湛水を見学しませんか？

期間：令和2年1月6日（月）から12日（日）まで
時間：午前11時から午後3時まで（事前連絡不要）
場所：最上小国川流水型ダム管理所2階（最上町大字富澤菅ノ平3784-1）

なお、試験湛水の状況は、最上小国川流水型ダム建設室HPからもご覧になれます。普段は「水を貯めない」流水型ダム。水が貯まった姿を見られるのは、今だけかもしれない！

[河川砂防課 29-1443]

受賞おめでとうございます！

大高根農場記念山形県農業賞



早坂 淳 氏

川村造林記念山形県林業賞



農事組合法人オークファーム 代表理事 阿部 高雄 氏

山形県ベストアグリ賞・東北農政局長賞



有限会社 鮎川えのきセンター 代表取締役 高橋 真哉 氏

令和元年度山形県県土づくり感謝状



- 道路美化活動部門
 - 星川建設（株） (有) 星輪 縄文里の会
- 河川美化活動部門
 - 平沢川に親しむ会 つるはしの会 西山河川公園を守る会
- 道路情報伝達部門
 - 門脇 寿孝 氏(舟形町)
- 地すべり急傾斜地巡視業務部門
 - 片桐 鐵彌 氏(金山町) 小松 定夫 氏(真室川町)
 - 高橋 靖弘 氏(真室川町) 柿崎 弥平治 氏(戸沢村)

雪を届けるおおくらくん



雪だるまの妖精「おおくらくん（大蔵村公式キャラクター）」に、豪雪地帯・肘折温泉に積もった新雪を詰めてお届けします！詳しくは大蔵村産業振興課（0233-75-2105）または肘折いでゆ館（0233-34-6106）へお問い合わせください。

地域課題の解決に向けて ～最上地域政策研究所研究成果報告会～

12月17日、最上総合支庁講堂において、最上地域政策研究所研究成果報告会を開催しました。

最上地域政策研究所は、最上地域における諸課題について調査研究し、各市町村の政策推進に資するとともに、職員の政策形成能力の向上を図るため、最上管内8市町村、最上広域市町村圏事務組合及び最上総合支庁が、平成24年7月4日に共同で設置したものです。このたび、第4期（平成30年度から2年間）の研究成果について、管内市町村長、市町村議会議員や市町村担当者の約60名に対し報告しました。

施策提案は、「克雪対策」と「高齢者支援対策」の地域課題について、2年間の調査・フィールドワーク・視察等をふまえ、最上地域の状況を検討したものとなりました。

【主な施策提案内容】

- 地域の共助体制を活用した冬期集住モデル
- もがみを支える高齢者の就労支援マッチングシステム



[連携支援室 29-1236]



新庄・最上ジモト大学のさらなる躍進

12月9日、新庄市民プラザ小ホールにおいて、新庄・最上ジモト大学コンソーシアムの令和元年度第2回運営委員会を開催しました。

今年度の新庄・最上ジモト大学プログラムの実績（実施：31プログラム、参加人数：540名）を報告し、高校生の興味を持てるプログラムの企画や学校行事・部活との調整、高校生が参加しやすい環境づくりなどについて話し合い、来年度に向けた継続点・改善点を整理しました。



[連携支援室 29-1236]

地元で働く魅力を知ろう

シリーズ
若者定着・人材確保に向けた取組み

12月12日、県立新庄北高等学校の1年生を対象に、地元の様々な職場で働く若手社員の方から、仕事のやりがいや新庄・最上での暮らしのことなどをお聞きする特別授業を開催しました。センパイ方は、お手製の“紙芝居”を使いながら、学生時代の話や今の仕事に就いたきっかけなど、楽しく・わかりやすくお話しください、生徒の皆さんは真剣に耳を傾けていました。

「新庄にはないと思っていた仕事があつた」「全然知らなかった分野を知ることができ良かった」などの感想が聞かれ、地元企業への理解が深まったようです。



[地域産業経済課 29-1309]

目指せ！医療・介護の仕事

地域の医療・介護分野の人材確保を図るため、小中学生を対象とした「進路を考える学習会」が、

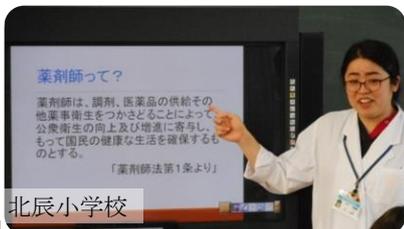
11月27日に真室川町立真室川小学校で、12月16日に新庄市立北辰小学校で開催されました。

看護師や薬剤師、介護福祉士のお仕事の体験学習を行い、将来の職業に対する視野を広げられました。

[保健企画課 29-1257]



真室川小学校



北辰小学校

魅力的な道の駅について考えよう！

12月7日、新庄市民プラザで、幅広い世代間で語り合い共通の想いを深めるため、「最上地区青少年育成懇談会（主催：最上地区青少年育成連絡協議会・最上総合支庁）」を開催しました。

高校生と青少年育成関係者が「最上の良さを発信しよう！～魅力的な道の駅を考える～」をテーマに意見交換し、高校生からは「近隣の市町村の様々な情報を道の駅に集約し、発信していくことで、多くの方が近隣の市町村へ足を運ぶのに役立つ道の駅になるといい」などの意見が出されました。

県では、出された意見を管内市町村と共有し、効果的に活用してまいります。

[子ども家庭支援課 29-1221]





記念セレモニー



12月7日、「山形新幹線新庄延伸20周年」セレモニーが、管内各市町村長、須藤最上総合支庁長出席のもと実施されました。

セレモニーでは、新庄聖マルコ幼稚園の園児による歌と踊りや、県立新庄神室産業高等学校による和太鼓演奏などが披露され、大いに盛り上がりました。

列車のお出迎えなどの場面では、そば・黒豆茶のふるまいや観光PRなどを行い、最上地域にお越しいただいた方に喜んでいただくことができました。



[観光振興室 29-1311]

記念シンポジウム

12月7日、新庄市の大地会館において、山形新幹線新庄延伸20周年記念シンポジウムが開催され、地元高校生による新幹線についての研究発表や、有識者による講演が行われました。講演では、新幹線をとおした地方創生には、地域にお金が落ちる新たな産業を興すことにより主体的に取り組む必要がある、といった提言を頂きました。

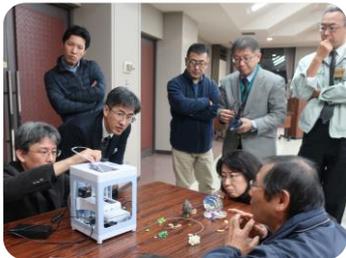
続いて行われたパネルディスカッションでは、地元の女性経営者や高校生が、首都圏との流行の時間差がなくなったことや観光客の増加など、新幹線の効果を振り返るとともに、奥羽新幹線が実現すれば通学可能な範囲が広がる、など未来への展望が語られ、それぞれが地域でできることを考える機会となりました。

[連携支援室 29-1239]

3Dプリンタの可能性

12月3日、最上総合支庁講堂にて、産学官連携につなげる第87回最上夜学を開催しました。

山形大学工学部川上勝先生より、3Dプリンタの仕組みや将来性と最新の研究について話題提供いただきました。材料は金属プラスチックから柔らかいゲルや食べ物まで、また応用分野としては、教育・医療介護から産業まで幅広く実用化



が進んでおり、その後の交流会でも、先生を囲んだ活発な情報交換が行われました。



[地域産業経済課 29-1307]

「働き方改革」を企業の成長につなげるために

12月5日、最上管内事業所等を対象に、「働き方改革」を実践することで、採用や売上げなどの成果に結びつけている企業の先進事例を学ぶ視察研修を開催し、15名が参加しました。

訪問させていただいた(株)ジェイ・サポート(山形市)、(株)サニックス(山形市)、(株)コヤマ(村山市)は、社員の声を大事にしながら若手社員の育成や働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでおり、「働き方改革」実践に至るきっかけなどについてお話いただいた後、意見交換を行いました。

参加者からは、自社の取組みにつなげたいとの前向きな感想が多く寄せられました。



[地域産業経済課 29-1309]

みんなで楽しく一歩一歩

障がい者と地域住民との交流の輪を広げ、障がい者を取り巻く環境について地域社会の理解を深めるため、12月1日に、25回目となる最上地区障がい者週間記念事業「一歩²(いっぽいっぽ)フェスタ」を、最上広域交流センターゆめりあを会場に開催しました。

福祉事業所の利用者の皆様がこの日のために練習してきた歌やダンスなどのステージ発表や、利用者の方が制作した作品の展示、製品の販売なども行われました。多くの方にご来場いただき、会場はとも賑わいました。

[地域保健福祉課 29-1277]



児童虐待を防ぐために求められること

11月28日、最上総合支庁にて「第3回最上地区放課後子ども総合プラン指導者研修会」を開催し、放課後児童クラブ・子ども教室の支援員など23名が参加しました。

東北文教大学の菅根章友先生を講師にお迎えし、「虐待が子どもに与える影響について」をテーマとした講演の後、参加者同士での情報交換を行いました。参加者からは、「子どもたちと関わる上で大事なことを学んだ」などの感想が寄せられました。

県では、今後も放課後児童クラブ・子ども教室の支援員等の資質向上に取り組んでまいります。

[子ども家庭支援課 29-1245]



お知らせ

冬の省エネ県民運動実施中

12月から3月まで「冬の省エネ県民運動」を実施中です。地球温暖化対策と効率的なエネルギーの利用に向けて、日常生活や経済活動に無理のない範囲での節電・省エネをお願いします。

- 〈例〉・電気こたつの設定温度を低くする。
- ・お風呂は間隔をあけずに入り、追い炊きをなるべくしない。



[環境課 29-1285]

道路除雪作業についてのお願い

◎流雪溝の投雪ルールを守りましょう

地区で決められたルールを守り、作業後の蓋の閉め忘れにご注意願います。

◎寄せ雪処理にご協力を

除雪後には宅地入口に多少の雪が当然残るものです。除雪作業を中断させる行為はご遠慮いただき、ご近所で協力し合い除雪をお願いします。

除雪作業を安全で効率的に進めるため、皆様のご理解とご協力をお願いします。



[道路計画課 29-1397]

野菜を食べて健康生活を送りましょう

野菜にはカリウムをはじめとするミネラル類や、ビタミン類、食物繊維が含まれ、日本人に不足がちな栄養素が揃えます。冬は野菜が美味しい季節であることに加え、うれしいことに**野菜全般は低カロリー**(*^▽^*)!!ヘルシーな野菜を上手に取り入れ、寒さに負けないようにしましょう。

[地域保健福祉課 29-1267]

野菜摂取の
目標量

350g/日

最上地域

263.1g/日

約90g不足

野菜90gとれる
献立例



イタリアンサラダ1皿

ひと足早いクリスマスプレゼントになりました

最上地域の豊かな森林資源森の恵みとして有効活用する『やまがた森林ノミクス』の取組みと、森や自然の恵みに感謝し豊かな心を育む『やまがた木育』の普及啓発活動の一つとして、12月16日、新庄市内にある「なかよし保育園」に最上の樹をふんだんに使った積み木のセットを贈呈しました。



積み木は、梅ヶ崎はれ工房（新庄市）の田中晴樹氏が製作したもので、最上地域から産出されたヤマザクラ、スギ、ケヤキなど15種類の木材が使用され、一つ一つに木の名前が入っています。子ども達はすぐに遊びはじめ、「木の重さがちがう」、「においがいい」などの感想もあり、積み木遊びを楽しんでくれました。

[森林整備課 29-1347]



山形おいしさ際立つ!米づくりプロジェクト

12月12日、産地研究室にて、最上地域の米の食味コンクールを実施しました。

つやあり、味よし、粒張りよし!最上の新米は良好な出来映えです。今年度は「つや姫」「はえぬき」と、新設の「雪若丸」の部に計125点の応募があり、審査の結果「つや姫」は舟形町の石山千秋さん、「雪若丸」は大蔵村の(農)グリーンライスファーム、「はえぬき」は金山町の庄司政次さんが最優秀賞に輝きました。

県では、おいしさ際立つ良食味米生産の支援を継続してまいります。

[農業技術普及課 29-1330]



浄化槽できれいな最上川を

11月28日に、最上広域交流センターゆめりあで合併処理浄化槽を新たに設置した方を対象に講習会を開催し、浄化槽の果たす役割と設置者義務について説明しました。

合併処理浄化槽は、トイレの排水を含む生活排水の汚れの約9割をきれいにしてくれます。一方、汲み取りトイレや単独処理浄化槽では、トイレ以外の台所・洗濯排水などはそのまま河川に流れてしま

ます。合併処理浄化槽で一人ひとりが適切に生活排水を処理し、きれいな最上川を守りましょう。

[環境課 29-1286]



発行日：令和2年1月1日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課

総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605



Twitter



HD

県立博物館に、真室川町で発見された「メガロドン」の歯の化石が展示されてるよ。メガロドンとは、古代の巨大ザメ!緑豊かな最上地域も、太古は大海原だったんだね~!

